

物質・材料研 銀・ロジウム合金粒子 水素吸蔵特性を観測

物質・材料研究機構は16日、水素吸蔵特性を持つ銀・ロジウム合金粒子の電子構造を世界で初めて観測したと発表した。銀とロジウムはそれぞれ単独では水素吸蔵特性を示さないが、合金状態で同特性を発揮する。観測の結果、銀・ロジウム合金粒子の電子構造を観測した。同機構高輝度放射光ステーションの坂田修一、都大学の北川宏教授、九州大学の古山通久教授の研究チームが観測した。

物質・材料研究機構は16日、水素吸蔵特性を持つ銀・ロジウム合金粒子の電子構造を世界で初めて観測したと発表した。銀とロジウムはそれぞれ単独では水素吸蔵特性を示さないが、合金状態で同特性を発揮する。観測の結果、銀・ロジウム合金粒子の電子構造を観測した。同機構高輝度放射光ステーションの坂田修一、都大学の北川宏教授、九州大学の古山通久教授の研究チームが観測した。

必要なLNG・圧延油など副資材価格も上昇

賃をめぐっては、今夏に複数の押出専門メーカーが先行してキロ当たり10〜30円程度加工賃を引き上げた。また、UACJの子会社で押出事業を手掛けるUACJは、外注アルミ加工についてキロ当たり10円の引き上げを実施。さらに製管業界で

観測の結果、銀・ロジウム合金粒子の電子構造は、水素吸蔵金属として実用化されているパラジウムの電子構造と極めて類似していることが分かった。パラジウムと同様に自動車排ガス浄化用など有用な触媒になる可能性があるという。

ロジウムと銀は元素の周期表中でパラジウムの両隣りにある。これらを合金化したものがパラジウムと類似の電子構造とわかったことで、「現代の錬金術」と言われる元素間融合研究の進展にもつながると期待される。

木更津市にショール 房総エリア最大規模



総合建材メーカーのLIXIL（本社・東京都千代田区、社長・藤森義明氏）は16日、今月25日に千葉県木更津市にショールームをオープンさせると発表。最大規模の住設建材ショールームとなる。約360平方メートルの展示面積を確保。LIXILグループの豊富な商材やサービスを一度に検討できる。来場者数は月間400組が目標。

LIXILショールーム木更津は写真で窓や玄関ドアからキッチン、浴室、トイレなど家一棟分の幅広い商材を展示。房総エリア最大規模の住設建材ショールームとなっている。立地する南千葉エリアにある住宅のうち約29万戸が築20年以上を迎えており、地域性に合せてリフォームの提案を充実させる。

- 経済産業省は今年度の「全国鉱山保安表彰」を決定し、14日、都内で表彰式を行った。保安従事者（足立鉱山）▽藤野
- 石炭鉱山）▽石田一功（神岡鉱山）▽和幸（尻屋鉱山）▽佐仁博行（神岡鉱山）
 - 藤和男（小坂鉱山）▽伊藤英彦（宇部伊賀賀夫（尻屋鉱山）▽関辰美

間展示で、実際の暮らしのイメージを持ちやすくするなどの工夫を凝らしている。住所は千葉県木更津市朝日3-10-9。

15日のロンドン自由金市場の金塊相場は3日続伸。1対11241・23ドルと、前日終値比9・68ドル高で引けた。米小売売上高などの指標悪化を受けて世界経済の先行き懸念が高ま

三菱マテリアル（社長・矢尾宏氏）はこのほど、「三菱マテリアルCSR報告書2014」を発行した。今年度の報告書では、東日本大震災以来、日本が抱える課題として関心の高いエネルギー問題に焦点を当て、同社グループの自然エネルギー活用に向けた中長期的な取り組みを特集化した。

「再生可能エネルギー」

報告書2014」発行 活用の取組み紹介

また、加盟するICMM（国際金属